

事業区分	文化芸術事業		育成・創造事業				
事業名	ARTS FOR EVERYONE 創造への扉		助成:文化庁				
目的・内容	誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくために実施。少人数制のワークショップとし、プロの講師と直接触れ合うことで、ロイヤリティを高め、文化芸術に対する知識を深める。拠点施設のない西部地区においては、新規鑑賞者開発も行う。「ARTS FOR EVERYONE ココロのサブリ」及び「楽演祭」、鑑賞公演と連動して推進することで、新規鑑賞者をリピーターに育成し、コアなファン層の拡大を図る。						
開催日時	①平成22年 6月13日(日) 13:30~14:15	②平成22年 7月19日(月・祝) 10:30~12:00	③平成22年10月24日(日) 13:30~14:30	④平成22年11月13日(土) 14:00~15:30			
会場	①DARAZ CREATE BOX(米子市) ②米子市文化ホール イベントホール ③米子市文化ホール 練習室 ④鳥取産業体育館 小体育館						
参加費	無料						
実施状況	参加者数	130名	定員	160名			
事業費状況	予算額	収入	0円	支出	1,592,000円	収支比率	0%
	決算額	収入	0円	支出	511,576円	収支比率	0%
参加者アンケート(主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなに近くで演奏を鑑賞することがなかったので新鮮でした。 ・楽器が身近に感じられ、わかりやすく、楽しく説明していただき、とても良かったです。 ・狂言講座は明日の公演の予備知識として大変参考になりました。 ・こういうワークショップに参加するのは初めてでしたがとても楽しかったです。子ども向けのオペラというのは、びっくりしました。オペラは難しいと思っていましたが、子ども達も引き込まれた様子で、上質な芸術の持つ力というのはすごいと感じました。 ・小中高の生徒達が文化に触れる機会をたくさん与えてください。 						
1次評価(内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業も2年目を迎え、推進姿勢や体制がスムーズになってきた。 ・「スーパーチェロ」のプレ事業はラジオ局のビルオープンスペースで実施することで、アートを楽しむ新たな環境を提供することができた。 ・「狂言」のプレ事業はとりアートの一環として行うことで、狂言に興味のなかった方にも会場に足を運ばせ、古典芸能に触れる機会を提供することができた。結果、チケット販売にも繋がった。 ・リピーター育成としては、親子を対象に実施し、まじかで文化芸術に触れる機会を提供して、将来の鑑賞者育成に繋げることができた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ事業に関しては、日常的に人が集まる場所で行うか、集客出来るアーティストで実施する必要がある。 ・本公演とプレ事業の連携を考えると、本公演の出演者に出演してもらうことが必要である。 						
2次評価(財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロの演奏者から直接、声をかけてもらったことは将来の動機付けに結びつくと思われる。また、新たな観客層の育成に繋がる。 ・集客のための多様な方策を試みている。 ・身近なコンサートやワークショップなので参加者の満足とは高いと感じた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も内容を検討しながら、小規模のワークショップを継続していくことが将来の鑑賞者等の育成に繋がる。 ・ひとつのイベントを成功させるための取り組みと、リピーター養成を目指すのであるから、多くの参加者を集めることはかなり困難であると思われる。しかし、地道に実施しなければ今以上のことは望めない。出来ればもっと人目に触れるところで実施できれば効果が上がる場合があるのではないかとと思う。 						
今後の対応、取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の課題点等を修正し、次年度の事業内容に反映させ、本事業のより一層の充実を図る。→実施中 ・可能な限り本公演の出演者・関係者を招聘するようしていく。→実施中 						